

ふくしまの森林文化調査カード

No.44

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 農村歌舞伎の舞台	(ふりがな) のうそんかぶきのぶたい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	大桃の舞台(おおもものぶたい)		
伝承地域	南会津郡南会津町(旧伊南村)		
由来(年代)	南会津郡南会津町(旧伊南村)の大桃集落にある駒嶽神社の境内にあり、1895(明治28)年7月9日の再建である。舞台の間口7.64m、奥行8.58m。民俗芸能や娯楽、遊戯に用いられた。		
内容	大桃の舞台は、正面上部に破風があるが、前面に小廂が付いた切妻造で、軒端の様式がこの地方独特であり、「兜造」と呼ばれる。舞台中央は、固定式二重、二層機構になっており、上段の二重には唐紙を入れることが出来、その奥は一段低く、下段の二重の同じ高さの床が張られており、楽屋となっている。「習芝居」と言われる地芝居は、1907(明治40)年に上演されたのが最後で、それ以降は買芝居を上演している。舞台は芝居の上演のほか、年3回行われる宮籠りの場所になっている。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	—		
文化財等の指定状況	国指定重要有形民俗文化財：1976(昭和51)年8月23日指定		
問い合わせ先	福島県立博物館(Tel:0242-28-6000) 南会津町教育委員会(Tel:0241-62-6100)		

【フリーフォーマット】

キーワード

大桃の舞台(国指定重要有形民俗文化財)



写真提供:南会津町教育委員会